

いぶりの水産業

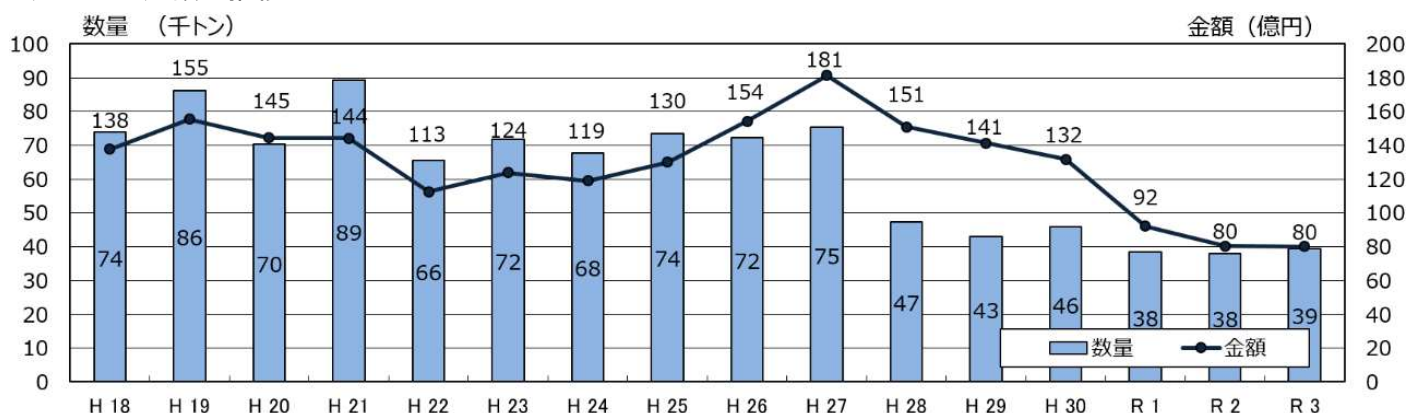
胆振の概況 2023

- 胆振管内は、噴火湾海域・太平洋海域と特性の異なる2海域に面し、噴火湾海域では、ほたて貝養殖業が、また、太平洋海域では、すけとうだら刺網、さけ定置、ほっき貝漁業が大宗漁業となっています。
- 令和3年の管内の漁業生産高は、数量で約3万9千トン、金額で約80億円であり、金額では全道の約3%を占めています。
- 魚種は、スケトウダラ、ホタテガイ、サケ、ホッキガイの漁獲が中心であり、この4魚種が管内漁業生産に占める割合は、数量で77%、金額では56%となっています。
- 水産資源の増大に向けて、マツカワやウニの種苗放流が継続して行われており、室蘭市にある「栽培水産試験場」では栽培漁業の技術開発の研究が進められ、また、伊達市にある「えりも以西海域栽培漁業拠点センター」では、マツカワ種苗生産に取り組んでいます。



<ほたて貝養殖業>

●生産量・生産額の推移



●魚種別生産量 (令和3年)

種別	胆振管内計		噴火湾海域		太平洋海域	
	生産量	構成比(%)	生産量	構成比(%)	生産量	構成比(%)
スケトウダラ	19,515	49.5	415	4.5	19,100	62.9
ホタテガイ	8,589	21.8	8,440	92.5	214	0.7
サケ	655	1.7	140	1.5	515	1.7
ホッキガイ	1,549	3.9	0	0.0	1,549	5.1
ケガニ	124	0.3	18	0.2	106	0.3
シシャモ	2	0.0	0	0.0	2	0.0
その他	8,984	22.8	112	1.2	8,872	29.2
計	39,418	100.0	9,125	100.0	30,358	100.0

●魚種別生産額 (令和3年)

種別	胆振管内計		噴火湾海域		太平洋海域	
	生産額	構成比(%)	生産額	構成比(%)	生産額	構成比(%)
スケトウダラ	1,462,333	18.2	21,665	1.1	1,440,668	24.0
ホタテガイ	1,747,802	21.8	1,704,164	85.0	43,638	0.7
サケ	579,318	7.2	122,249	6.1	457,069	7.6
ホッキガイ	693,401	8.7	0	0.0	693,401	11.5
ケガニ	583,894	7.3	75,253	3.8	508,641	8.5
シシャモ	9,239	0.1	0	0.0	9,239	0.2
その他	2,938,315	36.7	81,556	4.1	2,856,759	47.5
計	8,014,302	100.0	2,004,887	100.0	6,009,415	100.0

●胆振管内図 (漁協・漁港位置図)

